

## 佐用町の義務教育（学校教育）に関する意識調査

### 集計結果・概要報告書

H23・2 / 佐用町教育委員会

# 佐用町の義務教育（学校教育）に関する意識調査集計 結果報告

## 1. 実施期間

平成23年1月11日（火）～平成23年1月21日（金） 11日間

## 2. 調査対象者

- (1) 佐用町の保育園・幼稚園の保護者
- (2) 佐用町の小中学校児童・生徒の保護者（三土中学校の保護者を除く）
- (3) 佐用町の小中学校の教職員

## 3. 配布数と回収数（回収率）

- (1) 保育園・幼稚園の保護者用

園名	保護者配布数(A)	回収枚数(B)	回収率(B)÷(A)
佐用保育園	82	77	93.9%
長谷保育園	9	9	100.0%
平福保育園	25	24	96.0%
石井保育園	6	6	100.0%
江川保育園	17	16	94.1%
幕山保育園	12	12	100.0%
上月保育園	41	37	90.2%
久崎保育園	22	22	100.0%
中安保育園	27	27	100.0%
徳久保育園	30	29	96.7%
三河保育園	20	19	95.0%
三日月保育園	38	37	97.4%
<b>小計</b>	<b>329</b>	<b>315</b>	<b>95.7%</b>
マリア幼稚園	37	31	83.8%
<b>小計</b>	<b>37</b>	<b>31</b>	<b>83.8%</b>
<b>合計</b>	<b>366</b>	<b>346</b>	<b>94.5%</b>

- (2) 小中学校の保護者用

学校名	保護者配布数(A)	回収枚数(B)	回収率(B)÷(A)
佐用中学校	172	165	95.9%
上月中学校	120	108	90.0%
上津中学校	72	69	95.8%
三日月中学校	72	71	98.6%
<b>小計</b>	<b>436</b>	<b>413</b>	<b>94.7%</b>
佐用小学校	167	164	98.2%
利神小学校	73	73	100.0%
江川小学校	28	27	96.4%
幕山小学校	28	27	96.4%
上月小学校	76	76	100.0%
久崎小学校	54	51	94.4%
中安小学校	36	33	91.7%
徳久小学校	48	47	97.9%
三河小学校	45	45	100.0%
三日月小学校	98	95	97.0%
<b>小計</b>	<b>653</b>	<b>638</b>	<b>97.7%</b>
<b>合計</b>	<b>1,089</b>	<b>1,051</b>	<b>96.5%</b>

(3) 小中学校の教職員用

学校名	教職員配布数(A)	回収枚数(B)	回収率(B)÷(A)
佐用中学校	18	17	94.4%
上月中学校	19	19	100.0%
上津中学校	14	14	100.0%
三日月中学校	14	14	100.0%
<b>小計</b>	<b>65</b>	<b>64</b>	<b>98.5%</b>
佐用小学校	19	19	100.0%
利神小学校	15	15	100.0%
江川小学校	11	11	100.0%
幕山小学校	11	11	100.0%
上月小学校	13	13	100.0%
久崎小学校	12	12	100.0%
中安小学校	14	13	92.9%
徳久小学校	12	12	100.0%
三河小学校	13	13	100.0%
三日月小学校	16	15	93.8%
<b>小計</b>	<b>136</b>	<b>134</b>	<b>98.5%</b>
<b>合計</b>	<b>201</b>	<b>198</b>	<b>98.5%</b>

**佐用町の学校教育に関する意識調査（アンケート）回収率**

●配布枚数 1,656 枚

●回収枚数 1,595 枚

●回収率 96.3% ※ 本報告書の平均値は「加重平均」とする。

## **1. 教育の取組内容や重要度についての集計・分析結果**

## 1. 義務教育で身につけてほしい学力や能力について

順位	項目	保・幼稚園保護者			小学校保護者			中学校保護者			計 保幼小 中
		必要	やや 必要	計	必要	やや 必要	計	必要	やや 必要	計	
1	教科の基礎的な学力	95.4%	4.0%	99.4%	97.2%	2.5%	99.7%	96.3%	3.7%	100.0%	299.1%
2	自ら学ぼうとする意欲	89.6%	10.1%	99.7%	92.6%	7.0%	99.6%	91.0%	8.7%	99.7%	299.0%
3	自分の考えを表現する力	88.2%	11.6%	99.8%	86.5%	13.0%	99.5%	83.9%	15.1%	99.0%	298.3%
4	人間関係を築く力、コミュニケーション能力	91.3%	8.7%	100.0%	87.3%	11.9%	99.2%	84.6%	13.9%	98.5%	297.7%
5	善悪を判断する力	93.6%	5.8%	99.4%	93.8%	5.7%	99.5%	91.1%	7.4%	98.5%	297.4%
6	社会生活に必要な常識、 社会の決まりを守る公共心	89.6%	9.5%	99.1%	86.2%	13.0%	99.2%	87.6%	11.4%	99.0%	297.3%
7	ものごとを筋道立てて考える力	78.0%	21.1%	99.1%	77.4%	21.7%	99.1%	78.7%	19.3%	98.0%	296.2%
8	体力や運動能力	78.6%	21.1%	99.7%	79.1%	19.8%	98.9%	74.4%	23.1%	97.5%	296.1%
9	ものごとをやりとげるねばり 強さ	82.9%	16.5%	99.4%	82.7%	16.5%	99.2%	79.8%	17.5%	97.3%	295.9%
10	生き方や進路について考える力	72.0%	23.7%	95.7%	68.1%	29.0%	97.1%	78.2%	19.3%	97.5%	290.3%
11	自分の健康を管理する力	69.7%	27.2%	96.9%	70.9%	25.8%	96.7%	71.2%	25.1%	96.3%	289.9%
12	基本的な生活習慣	85.8%	10.1%	95.9%	82.1%	14.7%	96.8%	78.0%	17.1%	95.1%	287.8%
13	郷土を愛する心	52.0%	41.6%	93.6%	60.6%	35.6%	96.2%	59.6%	37.5%	97.1%	286.9%
14	受験に役立つ学力	55.7%	34.8%	90.5%	66.2%	29.5%	95.7%	80.9%	18.1%	99.0%	285.2%
15	コンピュータを活用する力	54.6%	37.0%	91.6%	57.9%	37.3%	95.2%	61.0%	35.3%	96.3%	283.1%
16	音楽・美術など芸術面での 実技能力	43.1%	51.4%	94.5%	45.3%	49.9%	95.2%	39.2%	53.8%	93.0%	282.7%
17	実際の場面で使える英語力	45.8%	44.6%	90.4%	52.2%	39.4%	91.6%	59.0%	35.6%	94.6%	276.6%

義務教育に求めるものは、どの項目についても“必要である”“やや必要である”の割合は90%以上を占めています。中でも“必要である”だけでみると、“教科の基礎的な学力”“善悪を判断する力”“自ら学ぼうとする意欲”“社会生活に必要な常識、社会の決まりを守る公共心”“人間関係を築く力、コミュニケーション能力”の5項目がどの保護者も上位にランク付けされています。

これらの傾向からみると、基礎学力をしっかりつけて良好な人間関係を築き、集団生活の中で自分の思いや考えが言える子の育成を期待していると考えられます。

## 2. 教育の取り組みについての考え(現在通学している学校について)

### ○保育園・幼稚園保護者

順位	項目	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	計(重要、やや重要)
1	環境教育や地域教育を推進する	29.3%	58.6%	11.3%	0.9%	87.9%
2	地域での体験活動やボランティア活動を増やす	30.9%	53.8%	13.6%	1.7%	84.7%
3	補習授業等により授業時間を確保する	31.5%	46.8%	19.4%	2.3%	78.3%
4	保幼園と小学校との交流授業、連携授業を行う。	26.0%	52.0%	19.4%	2.6%	78.0%
5	小学校から将来の職業や生き方について考えさせるような指導を行う	29.8%	44.8%	22.8%	2.6%	74.6%
6	複数の先生による授業を行う。	27.7%	46.2%	23.4%	2.6%	73.9%
7	子供の学力に応じたクラス編成や指導を行う	32.1%	37.3%	25.4%	5.2%	69.4%
8	小学校と中学校との交流授業、連携授業を行う。	23.5%	45.6%	27.0%	3.8%	69.1%

### ○小学校保護者

順位	項目	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	計(満足、やや満足)
1	校舎や教室の美化	41.2%	52.9%	5.1%	0.8%	94.1%
2	授業の工夫	33.2%	58.8%	6.5%	1.4%	92.0%
3	体育祭(運動会)などのスポーツ活動	45.4%	45.7%	7.3%	1.6%	91.1%
4	教科の基礎的な学習指導	34.8%	55.2%	7.9%	2.1%	90.0%
5	行事や学習についての地域と学校とのつながり	37.0%	52.0%	9.6%	1.4%	89.0%
6	学校施設・設備の充実	34.5%	53.5%	10.0%	2.1%	88.0%
7	学習発表会や文化祭(音楽会)などの文化活動	39.1%	48.3%	10.3%	2.4%	87.4%
8	学校の様子や出来事を保護者に伝えること	34.1%	50.6%	13.1%	2.2%	84.7%
9	宿題の内容や量	29.0%	55.4%	14.2%	1.4%	84.4%
10	いじめや不登校、問題行動への対応	24.8%	56.9%	14.4%	3.9%	81.7%
11	登下校を含めた安全面の危機管理体制	28.9%	48.7%	17.5%	4.9%	77.6%

### ○中学校保護者

順位	項目	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	計(満足、やや満足)
1	校舎や教室の美化	35.3%	55.5%	8.5%	0.7%	90.8%
2	体育祭(運動会)などのスポーツ活動	41.6%	48.0%	8.9%	1.5%	89.6%
3	学習発表会や文化祭(音楽会)などの文化活動	39.0%	50.1%	9.7%	1.2%	89.1%
4	学校施設・設備の充実	37.0%	49.9%	11.4%	1.7%	86.9%
5	宿題の内容や量	17.0%	62.5%	18.2%	2.2%	79.5%
6	授業の工夫	12.3%	63.8%	20.9%	3.0%	76.1%
7	学校の様子や出来事を保護者に伝えること	15.8%	58.7%	21.5%	4.0%	74.5%
8	行事や学習についての地域と学校とのつながり	17.3%	55.7%	25.2%	1.7%	73.0%
9	教科の基礎的な学習指導	12.8%	59.8%	23.2%	4.2%	72.6%
10	部活動の指導	20.8%	51.2%	18.3%	9.7%	72.0%
11	登下校を含めた安全面の危機管理体制	15.1%	54.3%	24.1%	6.5%	69.4%
12	いじめや不登校、問題行動への対応	12.8%	55.5%	26.4%	5.3%	68.3%

保護者が期待する教育の取り組みについての重要度と満足度は、“満足である”“やや満足である”の合計で順位付けをしました。

保育園・幼稚園保護者については、「環境」「地域」「体験」などのキーワードから、いろいろな体験活動を通して生きる力の育成と学力の保証を期待していると考えられます。小中学校の保護者については、両方とも第1位に“校舎や教室の美化”がきている。このことは、きれいに整った環境のもとで学校生活が送れていると考えられます。

他の上位の項目をみてみると、学習の面だけでなくスポーツ活動や文化活動の面がきている。これらのことは、学力の保障だけでなく、集団活動を通して望ましい人間関係を築く活動ができていると考えられます。

おおむね 70%以上の保護者は、すべての項目について“満足である”“やや満足である”と答えているが、“いじめや不登校、問題行動”“登下校を含めた安全面の危機管理体制”についてはまだまだ課題があると考えられます。

### 3. 教育の取り組みについて

#### ○小学校保護者

順位	項目	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	計(重要、やや重要)
1	環境教育や地域教育を推進する	26.9%	58.0%	13.9%	1.3%	84.9%
2	地域での体験活動やボランティア活動を増やす	26.0%	58.1%	14.6%	1.3%	84.1%
3	補習授業等により授業時間を確保する	39.2%	44.1%	15.1%	1.6%	83.3%
4	複数の先生による授業を行う	31.1%	46.7%	20.3%	1.9%	77.8%
5	小学校から将来の職業や生き方について考えさせるような指導を行う	26.9%	50.4%	20.8%	1.9%	77.3%
6	小学校と中学校との交流授業、連携授業を行う	26.3%	47.5%	23.5%	2.7%	73.8%
7	保育園と小学校との交流授業、連携授業を行う	23.1%	49.0%	25.2%	2.7%	72.1%
8	子供の学力に応じたクラス編成や指導を行う	33.8%	37.9%	24.2%	4.1%	71.7%

#### ○中学校保護者

順位	項目	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	計(重要、やや重要)
1	補習授業等により授業時間を確保する	51.6%	41.7%	5.9%	0.7%	93.3%
2	複数の先生による授業を行う	40.5%	44.2%	13.3%	2.0%	84.7%
3	環境教育や地域教育を推進する	22.0%	61.6%	15.1%	1.2%	83.6%
4	地域での体験活動やボランティア活動を増やす	24.6%	58.4%	15.5%	1.5%	83.0%
5	子供の学力に応じたクラス編成や指導を行う	41.3%	39.9%	15.8%	3.0%	81.2%
6	小学校から将来の職業や生き方について考えさせるような指導を行う	26.9%	44.4%	26.2%	2.5%	71.3%
7	小学校と中学校との交流授業、連携授業を行う	17.0%	44.3%	35.2%	3.4%	61.3%
8	保育園と小学校との交流授業、連携授業を行う	15.6%	44.0%	36.3%	4.2%	59.6%

保護者が期待する教育の取り組みについては、“重要である”“やや重要である”の合計で順位づけをしました。

小学校保護者については、“環境教育や地域教育を推進する”“地域での体験活動やボランティア活動を増やす”が上位にきています。中学校の保護者については、“補習授業等により授業時間を確保する”“複数の先生による授業行う”が上位にきています。

また“重要ある”だけを見ても、小中学校とも同じ“補習授業等により授業時間を確保する”“複数の先生による授業行う”“子供の学力に応じたクラス編成や指導を行う”が上位にきています。

## ●集計結果による保護者ニーズの概要

現在通学している学校についての保護者の意見は、どの項目に対しても68.3%以上が“満足”“やや満足”と回答している。特に、小中学校の保護者とも“校舎や教室の美化”が94.1%、90.8%とどちらも1位にきている。また“学校施設・設備の充実”についても、88.0%（小）、86.9%（中）と高い満足度がうかがえます。

次に“体育祭（運動会）などのスポーツ活動”は91.1%（小）89.6%（中）と“学習発表会や文化祭（音楽会）などの文化活動”については87.4%（小）、89.1%（中）と、どちらも高い満足度がうかがえます。“行事や学習についての地域と学校とのつながり”については、89.0%（小）、73.0%（中）となっています。

学習面では、“授業の工夫”が92.0%（小）、76.1%（中）、“教科の基礎的な学習指導”が90.0%（小）、72.6%（中）、“宿題の内容や量”84.4%（小）、79.5%（中）となっています。

これらのことから、整った施設・設備の学校施設で美しい環境が保たれた中で、学習やスポーツ活動・文化活動が地域と連携しながら進めていると考えられます。学習面において小学校より中学校の数値が少し低いのは、中学校の保護者の方が学習に対する期待度が高いことにも関係しています。

保護者が重要と考えられているのは、基礎的な学力の定着を第1に考え、様々な体験活動や集団活動を通して良好な人間関係を築く力や規範意識や自分を表現する力の育成を望まれていると考えられます。

学校教育全般については、「安全安心な学校」づくりと児童生徒の「生きる力」の育成をさらに推進していく必要があると考えます。

## II. 学校規模適正化（学校統合）関係についての集計・分析結果

## 【保育園・幼稚園・小中学校児童・生徒の保護者の回答】

### 1. 小学校の規模について

	保育園・幼稚園		小学校		計	
1 大きすぎる	5人	1.5%	1人	0.1%	6人	0.6%
2 少し大きい	12人	3.5%	12人	1.9%	24人	2.5%
3 適当である	142人	41.5%	272人	42.9%	414人	42.4%
4 少し小さい	110人	32.2%	211人	33.3%	321人	32.9%
5 小さすぎる	73人	21.3%	138人	21.8%	211人	21.6%
計	342人		634人		976人	

} 54.5%

※54.5%（半数以上）の保護者が学校の規模について、“少し小さい”あるいは“小さすぎる”と回答されています。

#### ● 100人未満の小学校に通う予定の【保育園・幼稚園児の保護者】の回答 (7校)

1 大きすぎる	0人	0%	
2 少し大きい	2人	1.2%	
3 適当である	43人	25.8%	
4 少し小さい	63人	37.7%	} 73.0%
5 小さすぎる	59人	35.3%	
計	167人		

#### ● 50人未満の小学校に通う予定の【保育園・幼稚園児の保護者】の回答 (3校)

1 大きすぎる	0人	0%	
2 少し大きい	0人	0%	
3 適当である	10人	16.4%	
4 少し小さい	17人	27.9%	} 83.6%
5 小さすぎる	34人	55.7%	
計	61人		

#### ● 100人未満の【小学校児童の保護者】の回答 (7校)

1 大きすぎる	1人	0.3%	
2 少し大きい	2人	0.7%	
3 適当である	73人	24.7%	
4 少し小さい	109人	37.0%	} 74.3%
5 小さすぎる	110人	37.3%	
計	295人		

#### ● 50人未満の【小学校児童の保護者】の回答 (3校)

1 大きすぎる	1人	1.2%	
2 少し大きい	1人	1.2%	
3 適当である	12人	13.9%	
4 少し小さい	23人	26.7%	} 83.7%
5 小さすぎる	49人	57.0%	
計	86人		

## 1-1. 中学校の規模について

中学校		
1 大きすぎる	0人	0%
2 少し大きい	8人	2.0%
3 適当である	188人	46.4%
4 少し小さい	158人	39.0%
5 小さすぎる	51人	12.6%
計	405人	

} 51.6%

### ● 佐用中を除く3校の【中学校の保護者】の回答

1 大きすぎる	0人	0%
2 少し大きい	4人	1.7%
3 適当である	88人	36.7%
4 少し小さい	105人	43.7%
5 小さすぎる	43人	17.9%
計	240人	

} 61.6%

※ 小学校の規模について、保育園・幼稚園児・小学校児童の保護者では“適当である”が42.4%と最も多く回答されていますが、“小さすぎる”あるいは“少し小さい”を合わせて半数を上回る54.5%の回答があります。

100人未満の小学校児童の保護者については、74.3%が現在の学校規模について“小さすぎる”あるいは“少し小さい”と回答されています。特に、50人未満の小学校の保護者については83.7%と非常に高く、また100人未満あるいは50人未満の小学校に通う予定の保育園・幼稚園児の保護者についても、ほぼ同等の回答となっており小学校の小規模化が懸念されています。

中学校の規模につきましても、佐用中学校を除く3つの中学校の保護者の61.6%が現在の学校規模について“小さすぎる”あるいは“少し小さい”と回答されています。

## 1-2. “少し小さい”又は“小さすぎる”と回答した理由（複数回答有り）

### （保育園・幼稚園児の保護者）

回答者数 183人 （回答数）

- |                                    |     |       |
|------------------------------------|-----|-------|
| 1. 仲間と切磋琢磨したり刺激しあったりする機会が少ない。      | 112 | 61.2% |
| 2. 友人関係や集団の役割などの位置づけが固定化されるおそれがある。 | 109 | 59.6% |
| 3. 登下校時の安全面が不安                     | 80  | 43.7% |
| 4. P T Aや各種の活動で保護者の負担が大きくなるおそれがある。 | 112 | 61.2% |
| 5. 集団で行う学習活動ができないおそれがある。           | 91  | 49.7% |
| 6. いろいろな考え方に触れる機会がすくなくなるおそれがある。    | 98  | 53.6% |
| 7. 男女比に偏りが生じるおそれがある。               | 38  | 20.7% |

### （小学校児童の保護者）

回答者数 349人 （回答数）

- |                                    |     |       |
|------------------------------------|-----|-------|
| 1. 仲間と切磋琢磨したり刺激しあったりする機会が少ない。      | 231 | 66.2% |
| 2. 友人関係や集団の役割などの位置づけが固定化されるおそれがある。 | 221 | 63.3% |
| 3. 登下校時の安全面が不安                     | 136 | 39.0% |
| 4. P T Aや各種の活動で保護者の負担が大きくなるおそれがある。 | 168 | 48.1% |
| 5. 集団で行う学習活動ができないおそれがある。           | 208 | 59.6% |
| 6. いろいろな考え方に触れる機会がすくなくなるおそれがある。    | 173 | 49.6% |
| 7. 男女比に偏りが生じるおそれがある。               | 77  | 22.1% |

### （中学校生徒の保護者）

回答者数 209人 （回答数）

- |                                    |     |       |
|------------------------------------|-----|-------|
| 1. 仲間と切磋琢磨したり刺激しあったりする機会が少ない。      | 140 | 67.0% |
| 2. 友人関係や集団の役割などの位置づけが固定化されるおそれがある。 | 120 | 57.4% |
| 3. 登下校時の安全面が不安                     | 46  | 22.0% |
| 4. P T Aや各種の活動で保護者の負担が大きくなるおそれがある。 | 90  | 43.1% |
| 5. 集団で行う学習活動ができないおそれがある。           | 93  | 44.5% |
| 6. いろいろな考え方に触れる機会がすくなくなるおそれがある。    | 85  | 40.7% |
| 7. したい、させたい部活動がなくなるおそれがある。         | 159 | 76.1% |
| 8. 男女比に偏りが生じるおそれがある。               | 39  | 18.7% |

### 保育園・幼稚園・小学校児童の保護者

※ 学校規模について“小さすぎる”あるいは“少し小さい”と回答され保護者の方々の理由として多いのは、1番に“仲間と切磋琢磨したり刺激しあったりする機会が少ない。”となっており保育園・幼稚園と小学校の保護者については、ほぼ同等の回答になっています。主な回答としましては、以下のとおりとなっています。

- ・友人関係や集団の役割などの位置づけが固定化されるおそれがある。
- ・集団で行う学習活動ができないおそれがある。”
- ・いろいろな考え方に触れる機会がすくなくなるおそれがある。”
- ・P T Aや各種の活動で保護者の負担が大きくなるおそれがある。”となっています。

### 中学校生徒の保護者

※ 学校規模について“小さすぎる”あるいは“少し小さい”と回答された保護者の理由としては、保育園や小学校の保護者の回答と異なり、1番に“したい、させたい部活動がなくなるおそれがある。”が最も多くの方が回答されています。次に“仲間と切磋琢磨したり刺激しあったりする機会が少ない。”“友人関係や集団の役割などの位置づけが固定化されるおそれがある。”となっています。

## 2. 学校統合について

### (全体)

1 積極的に推進していくべきである。	203人	14.8%	} 71.9%
2 他の学校と一緒にすることもやむを得ない。	782人	57.1%	
3 今の学校のままでよい。	385人	28.1%	
計	1,370人		

### 保育園・幼稚園児の保護者

1 積極的に推進していくべきである。	64人	18.8%	} 75.7%
2 他の学校と一緒にすることもやむを得ない。	194人	56.9%	
3 今の学校のままでよい。	83人	24.3%	
計	341人		

### 小学校児童の保護者

1 積極的に推進していくべきである。	94人	15.0%	} 72.2%
2 他の学校と一緒にすることもやむを得ない。	357人	57.2%	
3 今の学校のままでよい。	174人	27.8%	
計	625人		

### 中学校生徒の保護者

1 積極的に推進していくべきである。	45人	11.1%	} 68.3%
2 他の学校と一緒にすることもやむを得ない。	231人	57.2%	
3 今の学校のままでよい。	128人	31.7%	
計	404人		

※ 学校統合については、全体で“やむを得ない”と答えられている方が、57.1%あり最も多く“積極的に推進すべき”と合わせて71.9%の方が学校統合の必要性を認識されています。

### 3. 学校規模（児童数）として適切な人数について

#### ・保育園・幼稚園・小学校の園児・児童の保護者

	保育園等の保護者回答 (小学校の適正規模)		小学校保護者回答 (小学校の適正規模)		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 50人未満	2人	0.6%	9人	1.4%	11人	1.1%
2. 50人～99人	28人	8.3%	42人	6.8%	70人	7.3%
3. 100人～149人	111人	32.9%	179人	28.9%	290人	30.3%
4. 150人～199人	73人	21.7%	139人	22.4%	212人	22.2%
5. 200人～249人	63人	18.7%	112人	18.1%	175人	18.3%
6. 250人～299人	21人	6.2%	67人	10.8%	88人	9.2%
7. 300人～399人	30人	8.9%	57人	9.2%	87人	9.1%
8. 400人以上	9人	2.7%	15人	2.4%	24人	2.5%
計	337人		620人		957人	

※ 小学校の最も適切な規模（児童数）については、100人～149人が最も多く保育園・幼稚園児の保護者と小学校児童の保護者全体で、30.3%となっています。  
これは、1学級（クラス）の人数にすると20人程度となり、学級規模（1クラスの人数）として最も適切な人数の問いについても、20人～24人と回答されている方が最も多く、学校規模と学級規模についての思いがほぼ合致しています。

#### ・中学校生徒の保護者

	中学校の保護者回答 (中学校の適正規模)	
	人数	割合
1. 50人未満	4人	1.0%
2. 50人～99人	17人	4.2%
3. 100人～149人	79人	19.7%
4. 150人～199人	141人	35.0%
5. 200人～249人	75人	18.7%
6. 250人～299人	47人	11.7%
7. 300人～399人	34人	8.5%
8. 400人以上	5人	1.2%
計	402人	

※ 中学校の適切な規模（児童数）については、150人～199人と回答されている方が35.0%と最も多くなっています。  
これは、1学年（1クラス）当りの最も適切な人数の問いで、25人～29人が最も多く回答されているところから見て、1学年2クラス想定規模となり、中学校の規模としては、少しすくないのではないかと考えられます。

#### 4. 学級の規模（1クラス）当りの最も適切な人数について

##### （小学校児童の保護者の回答）

1. 10人未満	3人	0.5%
2. 10人～14人	25人	4.0%
3. 15人～19人	108人	17.4%
4. 20人～24人	240人	38.5%
5. 25人～29人	197人	31.6%
6. 30人以上	50人	8.0%

計 623人

※ 1学級（クラス）当りの適切な人数については、20人～24人と回答されている方が最も多くなっています。

これは、学校の規模にすると130人程度となり、学校の規模として適切な人数の問いについても、100人～149人と回答されている方が最も多く、学級規模と学校規模についての思いがほぼ合致しています。

##### （中学校生徒の保護者の回答）

1. 10人未満	1人	0.3%
2. 10人～14人	3人	0.7%
3. 15人～19人	11人	2.7%
4. 20人～24人	89人	21.9%
5. 25人～29人	207人	51.0%
6. 30人以上	95人	23.4%

計 406人

※ 1学級（クラス）当りの適切な人数については、25人～29人と回答されている方が51.0%と最も多くなっています。

これは、学校の規模にすると各学年2クラス想定で160人程度となり、学校の規模として適切な人数の問いについても、150人～199人と回答されている方が最も多く、学級規模と学校規模についての思いはほぼ合致していますが、中学校のクラス数としては、少しすくないのではないかと思います。

## 5. 複式学級について

### (小学校児童の保護者の回答)

	(小学校全体)	
1. 複式学級は、やむを得ない。	190人	30.8%
2. 複式学級は、できるだけ避けるべきである。	427人	69.2%
計	617人	

### ・現在、複式学級のある学校

1. やむを得ない。	26人	30.2%
2. できるだけ避けるべきである。	60人	69.7%
計	86人	

※ 複式学級は、できるだけ避けるべきである。と回答された保護者が全体で69.2%あり、現在、複式学級のある学校についても69.7%となっており、複式学級にさせたくないという思いがうかがえます。

## 6. 複数の学級について

### (小学校児童の保護者の回答)

	(小学校全体)	
1. 単学級は、やむを得ない。	447人	73.2%
2. 単学級は、できるだけ避けるべきである。	164人	26.8%
計	611人	

### (中学校生徒の保護者の回答)

	(中学校全体)	
1. 単学級は、やむを得ない。	190人	48.2%
2. 単学級は、できるだけ避けるべきである。	204人	51.8%
計	394人	

### ・現在、単学級の学校

1. やむを得ない。	93人	69.9%
2. できるだけ避けるべきである。	40人	30.1%
計	133人	

※ 小学校では、現状の児童数を考慮し“単学級は、やむを得ない。”と回答された保護者が73.2%となっています。

また、中学校では、全体で“単学級はできるだけ避けるべきである。”と回答された保護者が51.8%とわずかながら半数を上回っていますが、現在単学級で行っている中学校では、反対に69.9%程度の方が、“単学級はやむを得ない。”と回答されています。

## ●集計結果による保護者ニーズの概要

平成23年1月に教育委員会が保育園・幼稚園・小学校・中学校の保護者と教職員を対象に実施した「佐用町の学校教育に関する意識調査」では、100人未満の小学校（10校中7校）に通う児童の保護者の74.3%が、現在の学校規模について“小さすぎる”あるいは“少し小さい”と回答されています。50人未満の小学校に通う児童の保護者については、83.7%の回答となっています。中学校については、佐用中学校を除く3校の生徒の保護者の61.6%が回答されています。

また、学校規模の適正化を推進することについては、保護者全体の71.9%が、“積極的に推進すべき”あるいは“適切な教育環境確保のためにはやむを得ない”と回答されています。この傾向については、小規模校になるほど強くなっています。全体として一定規模の集団教育の必要性が認識されており、学校規模の適正化を求める姿勢がうかがえます。

一つの学校に求められている規模（人数）としては、保護者全体の90%以上が100人以上を希望されています。その中で、小学校は100人～149人、中学校は150人～199人の規模となることを最も多くの保護者が希望されています。

1学級の規模（クラスの人数）については、小学校が20～24人程度、中学校が25～29人程度とする回答が最も多くなっています。

## 【小中学校の教職員の回答】

### 【小学校の教職員】

#### ① 小学校の規模（児童数）について

##### ・小学校全体

1 大きすぎる	0人	0%	
2 少し大きい	3人	2.3%	
3 適当である	63人	48.1%	
4 少し小さい	52人	39.7%	} 49.6%
5 小さすぎる	13人	9.9%	
計	131人		

##### ・100人未満の小学校【教職員の回答】

			計
1 大きすぎる	0人	0%	
2 少し大きい	0人	0%	
3 適当である	32人	38.1%	
4 少し小さい	42人	50.0%	} 61.9%
5 小さすぎる	10人	11.9%	
計	84人		

##### ・50人未満の小学校【教職員の回答】

			計
1 大きすぎる	0人	0%	
2 少し大きい	0人	0%	
3 適当である	13人	39.4%	
4 少し小さい	13人	39.4%	} 60.6%
5 小さすぎる	7人	21.2%	
計	33人		

※ 小学校の規模については、小学校全体では“適当である”と“少し小さい・小さすぎる”がほぼ半々ですが、100人未満の小学校に勤める教職員の中では60%程度が現在の学校規模について“小さすぎる”あるいは“少し小さい”と回答されています。

①-1 (4または5と回答した理由)

回答者数 65人 (回答数)

1. 多くの友達の見方や考え方に触れたりすることができにくい。	34	52.3%
2. 保護者同士の多様な交流機会やさまざまな意見を交換が難しい。	6	9.2%
3. 少人数の登下校であるので安全面が心配である。	37	56.9%
4. 切磋琢磨や刺激しあう機会が少なく、競争心や社会性が育ちにくい。	37	56.9%
5. PTA等での活動で、保護者の役割分担が多くなるおそれがある。	25	38.5%
6. 友人関係や集団における役割、位置づけが固定化する傾向がある。	48	73.8%
7. 修学旅行や校外学習などに要する費用負担が大きい。	4	6.2%
8. 体育科や音楽科等の集団の学習活動が少なくなる傾向が見られる。	30	46.2%
9. 部活動の種目やチーム編成などが限定される。	10	15.4%
10. 男女比に偏りが生じる。	15	23.1%
11. 教師の校務分掌・役割分担が多くなり、多忙になる。	29	44.6%

※ 学校規模について“小さすぎる”あるいは“少し小さい”と回答された教職員の理由としては、1番に“友人関係や集団における役割、位置づけが固定化する傾向がある。”となっており、次に

- ・少人数の登下校であるので安全面が心配である。
- ・切磋琢磨や刺激しあう機会が少なく、競争心や社会性が育ちにくい。
- ・多くの友達の見方や考え方に触れたりすることができにくい。
- ・体育科や音楽科等の集団の学習活動が少なくなる傾向が見られる。となっています。

② 学校統合について

1 積極的に推進していくべきである。	4人	3.2%
2 他の学校と一緒にすることもやむを得ない。	48人	38.1%
3 今の学校のままでよい。	74人	58.7%

41.3%

計 126人

※ 学校統合については、“今の学校のままでよい”が58.7%と半数以上となっており、現状維持を希望されています。

③ 学校規模（児童数）として最も適切な人数について

(1) 50人未満	0人	0%	(2) 50人～99人	23人	18.9%
(3) 100人～149人	53人	43.4%	(4) 150人～199人	20人	16.4%
(5) 200人～249人	16人	13.1%	(6) 250人～299人	5人	4.1%
(7) 300人～399人	3人	2.5%	(8) 400人以上	2人	1.6%

計 122人

※ 教職員が考える小学校の適切な規模（児童数）については、100人～149人と回答されている方が43.4%と最も多くなっています。

これは、児童の保護者の回答とも合致しています。また、1学級（クラス）の人数にすると20人程度となり、学級規模（1クラスの数）として適切な人数の問いについても、20人～24人と回答されている方が最も多く、学校規模と学級規模について保護者と教職員の思いがほぼ合致しています。

#### ④ 学級の規模（1クラスの人数）として最も適切な人数について

(1) 10人未満	1人	1.0%	(2) 10人～14人	14人	13.6%
(3) 15人～19人	25人	24.3%	(4) 20人～24人	54人	52.4%
(5) 25人～29人	6人	5.8%	(6) 30人～34人	2人	1.9%
(7) 35人以上	1人	1.0%			

計 103人

※ 教職員が考える1学級（クラス）当りの適切な人数については、20人～24人と回答されている方が52.4%と最も多くなっています。

これについても、学校の規模にすると130人程度となり、学校の規模として適切な人数の問いについても、100人～149人と回答されている方が最も多く、保護者と教職員の思いがほぼ合致しています。

#### ⑤ 複式学級について

（小学校全体）

1. 複式学級は、やむを得ない。 39人 33.6%
2. 複式学級は、できるだけ避けるべきである。 77人 66.4%

計 116人

※ 複式学級は、できるだけ避けるべきである。と回答された教職員が66.4%となっており、複式学級はできるだけ避けるべきである。との考えが伺えますが、学校統合についての考えと矛盾しています。

#### ⑥ 複数の学級について

1. 単学級は、やむを得ない。 105人 89.7%
2. 単学級は、できるだけ避けるべきである。 12人 10.3%

計 117人

※ 90%程度の教職員が“単学級は、やむを得ない。”と回答しており、現状の児童数を考慮するとやむを得ない回答と思われます。

## 【中学校の教職員】

### ① 中学校の規模（生徒数）について

#### ・中学校全体

1 大きすぎる	0人	0%	
2 少し大きい	0人	0%	
3 適当である	31人	50.8%	
4 少し小さい	25人	41.0%	} 49.2%
5 小さすぎる	5人	8.2%	
計	61人		

※ 中学校の規模については、中学校全体では“適当である”と“少し小さい・小さすぎる”が小学校同様にほぼ半々となっています。

#### ① - 1（4または5と回答した理由）

回答者数 26人（回答数）

1. 多くの友達の見方や考え方に触れたりすることができにくい。	3	11.5%
2. 保護者同士の多様な交流機会やさまざまな意見を交換が難しい。	0	0%
3. 少人数の登下校であるので安全面が心配である。	2	7.7%
4. 切磋琢磨や刺激しあう機会が少なく、競争心や社会性が育ちにくい。	4	15.4%
5. PTA等での活動で、保護者の役割分担が多くなるおそれがある。	0	0%
6. 友人関係や集団における役割、位置づけが固定化する傾向がある。	6	23.1%
7. 修学旅行や校外学習などに要する費用負担が大きい。	0	0%
8. 体育科や音楽科等の集団の学習活動が少なくなる傾向が見られる。	1	3.8%
9. 部活動の種目やチーム編成などが限定される。	4	15.4%
10. 男女比に偏りが生じる。	1	3.8%
11. 教師の校務分掌・役割分担が多くなり、多忙になる。	5	19.3%

※ 学校規模について“小さすぎる”あるいは“少し小さい”と回答された教職員の理由としては、1番に小学校と同様に“友人関係や集団における役割、位置づけが固定化する傾向がある。”となっており、次に、教師の校務分掌・役割分担が多くなり、多忙になる。

- ・切磋琢磨や刺激しあう機会が少なく、競争心や社会性が育ちにくい。
- ・部活動の種目やチーム編成などが限定される。
- ・多くの友達の見方や考え方に触れたりすることができにくい。となっています。

## ② 学校統合について

- |                        |    |       |
|------------------------|----|-------|
| 1 積極的に推進していくべきである。     | 1人 | 9.1%  |
| 2 他の学校と一緒にすることもやむを得ない。 | 4人 | 36.4% |
| 3 今の学校のままでよい。          | 6人 | 54.5% |

計 11人

(回答：11/64：率17.2%)

※ 学校統合については、“今の学校のままでよい”が54.5%と半数以上となっており、小学校と同様に現状維持を希望されています。ただし、回答率が17.2%と非常に低くなっています。

## ③ 学校規模（生徒数）として最も適切な人数について

- |               |     |       |               |     |       |
|---------------|-----|-------|---------------|-----|-------|
| (1) 50人未満     | 0人  | 0%    | (2) 50人～99人   | 4人  | 6.9%  |
| (3) 100人～149人 | 14人 | 24.1% | (4) 150人～199人 | 21人 | 36.2% |
| (5) 200人～249人 | 7人  | 12.1% | (6) 250人～299人 | 7人  | 12.1% |
| (7) 300人～399人 | 5人  | 8.6%  | (8) 400人以上    | 0人  | 0%    |

計 58人

※ 教職員が考える小学校の適切な規模（児童数）については、150人～199人の回答が36.2%と最も多くなっています。

これは、中学生の保護者と同様の回答となっていますが、中学校の生徒数としては、少しすくないように思われます。

## ④ 学級の規模（1クラスの人数）として最も適切な人数について

- |             |     |       |             |     |       |
|-------------|-----|-------|-------------|-----|-------|
| (1) 10人未満   | 0人  | 0%    | (2) 10人～14人 | 0人  | 0%    |
| (3) 15人～19人 | 0人  | 0%    | (4) 20人～24人 | 21人 | 42.9% |
| (5) 25人～29人 | 20人 | 40.8% | (6) 30人～34人 | 8人  | 16.3% |
| (7) 35人以上   | 0人  | 0%    |             |     |       |

計 49人

※ 教職員が考える1学級（クラス）当りの適切な人数については、20人～24人の回答が42.9%、25人～29人が40.8%と2つに分かれています。

⑤ 複数の学級について

- |                        |     |       |
|------------------------|-----|-------|
| 1. 単学級は、やむを得ない。        | 26人 | 52.0% |
| 2. 単学級は、できるだけ避けるべきである。 | 24人 | 48.0% |

計 50人

※ “単学級は、やむを得ない。”と“できるだけ避けるべきである。”がほぼ半数の回答となっています。